

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力 育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する ・一歩踏み出し、キャリア教育・郷土教育・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③地域・関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②豊かな心・健やかな体を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進 ①子どもたちの自己実現を支える教育の推進	元気強い子 清見の子（進んで学ぶ子・なかよくやりぬく子・じょうぶで明るい子）	対話を通して問題をよりよく解決する力、キーワード・委ねる	改善（伝わる） 学び（現） 主（対） 体的（話） 実（的） 現（的） に（的） 向（的） け（的） る（的） 授（的） け（的） る（的） 業（的） （的）	① 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら学習する過程の重視	本時のねらいに合わせた導入や議論の方法を工夫できる 課題解決に向けた個や集団への働きかけを行う	B B	・個、ペア、グループ、全体など、児童の学習状況に応じて学習形態を工夫し、議論につなげる指導を工夫することができた。 ・対話を通して問題解決に向かっていく一覧表をもとに、全校体制で議論に向かうための言語活動能力と情報活用能力の育成を図る指導を行うことができた。 ・「学習した内容を理解しているか」の保護者アンケートでは、90%の保護者が当てはまると回答し、学習指導の成果がみられる。 ・各教科において振り返りの方法について取り組めたが、全校体制での取り組みとしていきたい。
					④ 学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力等）の育成	議論に向かうための言語活用能力と情報活用能力の育成を行う 学習の習慣づくりから聴く、話すの姿への指導を意図的に行う	A A	
					① 自ら選び、自ら学び取る学習の工夫（見通しと振り返り、課題や活動の選択等）	ねらいや児童の実態に応じた学習隊形を工夫していく 授業の終末に評価問題に取り組んだり、振り返りを行ったりする時間を設定し、学習の成果を実感する	A B	
					② 「真に強いカード」(なりたい自分、実現に向けた過程の可視化)の活用	真に強いカード・タブレットを活用し、懇談や評価活動を行う 年間を見通した各期ごとの「なりたい自分」に向けての指導と見届けを行う	B B	
					② 計画的な対話活動と評価、よりよい支援のための保護者や外部機関との連携	児童・保護者の困り感に寄り添い意図的計画的な支援を充実させる 支援の必要な児童にチームで支援し、関係諸機関と連携する。	B A	
					⑤ 互いに関わり合う場の創造と互いに想い合う心の育成	仲間や自分のよさを見つけ発信する活動をする マイサポーターの先生と交流する場を位置づけ、児童と向き合う時間を確保し、毎日の対話を大切にする	B B	
					⑤ 地域ぐるみの人権教育の推進	人権のまち清見として地域の方とともに計画的に取り組む 児童会・PTA・地域と一緒に「あったかい言葉がけ」を常に意識することができる(90%以上を目指す)	B B	・中学校や人権擁護委員・まちづくり協議会と一緒に人権教育やふるさと教育を充実させることができた。 ・全児童が、「全校道徳」や「人権TM」を通して、自分自身の姿を振り返り、自分や周りの人の人権について考え行動していくことができた。「自分や周りの人を大切にしているか」の保護者アンケートでは、95%の保護者が当てはまると回答しており、児童の人権に対する意識や行動力が身についてきていると言える。 ・ふるさと郷土教育については、清見地域の講師（清見ドリーマー）の方々の協力のもと、6年森林教育や5年米づくり、4年福祉教育を進めることができた。 ・保育園・中学校・清見支所と連携しながら防災教育・訓練を位置づけることができた。
					③ 学校運営協議会活動の推進	人権タウンミーティングで人権教育のあり方等について交流し、発信する 保・小・中の連携を強化し、つながりのある教育活動を推進する	A B	
					③ ふるさと（郷土）教育の推進	育てたい資質・能力を地域と共有しながら学習を充実させる 学習した内容について発信する場を位置づける	A B	
					⑤ 地域ぐるみの命を守る訓練の実施	保・小・中で連携しながらより本番を想定した引き渡し訓練を実施する 防災士や地域の方と協力しながら命を守る訓練を実施する	A B	

学校運営協議会における主な評価内容

・ふるさと清見の良さを体感し、そこで学んだことや知ったことを発信して欲しい。
・本物（水、山、川、森、木など）に触れ、五感や気付くということを大切にしながら、これからの困難を乗り越えていく引き出しを子ども達に身に付けさせていってもらいたい。
・自ら考え、自ら行動することは、今後の世の中で求められるところである。
・地域と子ども達の接点を大切にしながら、学校の教育方針を共有して、地域一体となって子ども達を育てていく。